

「膿疱性乾癬患者におけるイクセキズマブの治療効果の検討」に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年7月20日～2022年3月31日

〔研究課題〕

膿疱性乾癬患者におけるイクセキズマブの治療効果の検討

〔研究目的〕

抗IL-17A抗体であるイクセキズマブによる治療の効果について検討します。

〔研究意義〕

膿疱性乾癬は発熱とともに全身の皮膚が潮紅し、無菌性膿疱が多発する、全身性炎症性疾患ですが、その治療方法は限られています。今回、イクセキズマブ投与後の皮疹の重症度や膿疱性乾癬の疾患活動性の重症度の推移を調べることで、イクセキズマブによる治療が膿疱性乾癬において有効な選択肢になるか検討します。

〔対象・研究方法〕

2017年4月～2018年3月に帝京大学医学部附属病院皮膚科にてイクセキズマブを投与された膿疱性乾癬患者さんが対象となります。それぞれの患者さんの皮疹の重症度(PASIスコア)、膿疱性乾癬の疾患活動性の重症度(GPP score)、血清の白血球数、CRP値をカルテから膿疱性乾癬においてイクセキズマブ投与によるPASI score, GPP scoreの変化より、治療効果を分析 します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 皮膚科

責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田弥生

〔個人情報の取り扱い〕

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部皮膚科学講座 主任教授 多田 弥生

研究分担者：大学院生 長田麻友美、准教授 鎌田昌洋

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表)〔内線 32610〕